

全自動 DRY-CIP

<<高密度粉末成形体の量産化>>

複雑な高密度粉末成形品の多品種少量生産を得意とする湿式 CIP 法に対して、

乾式 CIP 法は、単純形状・高密度粉末成形品の大量生産を得意とした粉末成形手法です。

金属・セラミックス・カーボン等の中空連続形状（棒・管）に特化した高密度粉末成形の量産化が可能。

特長

●1サイクル自動

ゴム型セット後ボタンを押すだけでCIP開始。

●機構図付タッチパネル

図示により、機械動作の理解が簡単に。

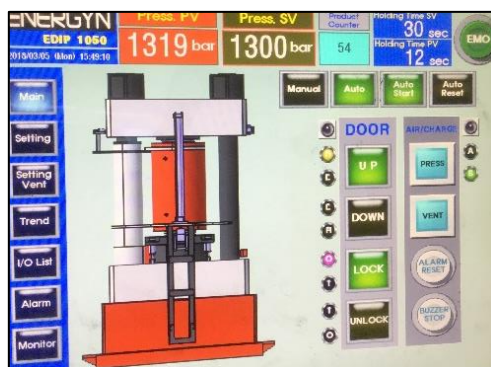
ゴム型セット→昇圧及び減圧→ゴム型の取出までを図示。

●粉末成形のニアネットシェイプ化

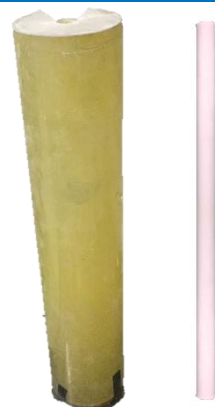
最終製品形状へ近づく、生産効率向上への一歩。



(型式:EDIP-100/500)



タッチパネル



ゴム型と成形サンプルイメージ

| 型式 | 駆動タイプ | 投入可能ゴム型サイズ [mm] | 最高使用圧力 [MPa] | 中間 圧力媒体 |
|--------------|-------|--------------------|-----------------|-------------|
| EDIP-100/500 | 電動 | Φ100×500L | 150 | 水 (変更可能) |
| EDIP-200/600 | | Φ200×600L | | |
| EDIP-200/900 | | Φ200×900L | | |

※上記サイズ以上：特注設計（必要な成形品サイズからゴム型の選定まで）



棒・管の量産化に適するかつ、

ゴム型と芯棒の設計ノウハウにより、中空異形状の設計も可能です。

